

№	提 案 名	提 案 団 体 名		
		代表者氏名	所 属	
14	PROJECT大谷	宇都宮大学 計画研究室		
		木村 新	宇都宮大学大学院 工学研究科	
			指導教官 氏 名	藤本 信義

1 提案の要旨，提案の目標

栃木県宇都宮市大谷町

北西部の中でも城山地区は、優れた自然景観や森林公園、大谷石の奇岩群や大谷観音などの観光資源に恵まれており、これらの資源を生かした観光拠点としての機能向上を図るとともに、総合的な地区開発の推進を必要としている。

また、「石の里—大谷」と称されるように、大谷町は大谷石の産地として有名である。しかし、現在は大谷石の生産量も大きく減少しており、石の里としてのアイデンティティを再び獲得するべきではないかと考えている。

大谷町の町並みはどうしても「淋しい」という感じが否めず、観光客・宿泊施設・公共施設も充実しているとはいえない。アート・イン・レジデンス（以下A i R）を通し、キーワードを「交流」と位置づけることで、地域市民と来訪者との都市農村交流を活発に行う。交流を通して、設定した各エリアでもネットワークの再構築を行うことで、城山地区一帯の活性化を図るとともに、大谷石を中心とした景観だけではなく、標識・案内板・バス停・休憩スペース・屋号の統一などの配置・デザイン計画を行い、趣むきのある町へと転換を推進する。

主な提案

提案 1.大谷景観プロジェクト

大谷石のアピールにとどまらず、「歩ける大谷」をテーマに、標識や案内板などの配置・デザイン計画、また河川環境の整備を行い、景観の維持ではなく改善を行っていく。

提案 2.大谷A i Rプロジェクト

大谷エリアを中心とし、地域特産である大谷石やその他の観光資源を活かし、芸術活動を通して都市農村交流を促進する。

提案 2.城山地区におけるマスタープラン

城山地区を地域特色ごとのエリアに設定し、各エリアの特色の再認識、またネットワークの再構築を図る。